

## 2025 年度

### ニチイキッズ梶が谷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月30日（金）～2月27日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年3月16日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づき指導計画を立て、日々の保育を行ってきた。保育理念、保育方針を念頭に全職員で子ども一人ひとりへの関り方や配慮を見直して子どもの最善の利益を守ることに努めた。
子どもの発達援助	子どもの波立援助を行っていく上で、日々子どもの姿を共有し、課題点や改善点、対応の仕方を考え、また連携施設に相談しながら全職員が同じ関りが行えるよう取り組んできた。日々の子どもの様子で柔軟に対応し、一人ひとりの発達にあった援助を行うよう努めた。
保護者に対する支援	送迎時にその日の出来事や様子を伝え、信頼関係の構築に努めた。また、懇談会では保育園や保護者同士のつながりを作る場として行い、個人面談や保育参観では成長発達を共有し、喜び合うことが出来た。
保育を支える組織的基盤	職員が外部研修を受け自己研鑽を行い、職員会議等の場で報告、教諭を図り保育の質の向上に努めた。また、不適切保育に関しては昨年度に引き続き事例をもとに園内研修を重ね、子どもの最善の利益を守る保育に努めた。

総評
職員会議を定期的に行い、話し合いの場を多く設けることで日々の保育の活性化につなげることが出来ました。食育活動にも力を入れ、年長児は食の三原色群を学び、日々の給食では話題に出るようになりました。また、様々な食材に触れ五感で感じ、食への興味関心を持てる子が増えてきました。今後も子どもたちが楽しかったねと思える日々を過ごせるようまた、安心して利用できる園作りを行ってまいります。